

第7回 東北地区褥瘡サミット

(第44回褥瘡サミット)

青葉の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、標記研修会を下記の通り開催する運びとなりました。愛知県では褥瘡治療での薬薬薬連携が活発に行われ、その取組みは本サミットを全国各地で開催することで広がっており、厚労省も注目しております。宮城県では7回目の開催となります。第3回からは実習も取り入れ、宮城県内の病院、保険薬局はもとより、東北6県の薬剤師会、病院薬剤師会にも呼びかけ参加をいただいております。参加者の皆様からは褥瘡の知識が、薬剤師の業務拡充の手段として有用であると評価もいただいております。褥瘡に対する基本的な考え方、治療などを根本から学べる機会と思われま。

是非多数の皆様のご参加をお願い致します。

記

日時 : 第1日目 平成28年7月23日(土) 午後1時～午後5時10分(受付12時～)
第2日目 平成28年7月24日(日) 午前9時30分～午後12時40分
会場 : 東北医科薬科大学 仙台市青葉区小松島4-4-1 TEL:022-234-4181
中央棟2F 2B講義室(1日目)、薬理系実習室(2日目)

プログラム

司会 : 宮城県病院薬剤師会副会長 尾形 勉

第1日目

◇ 開会挨拶(13:00～13:05) 宮城県薬剤師会会長 佐々木 孝雄

◇ 学術講演(13:05～14:35)

座長 : 菅野 和彦(東北労災病院)

「褥瘡の病態と薬物療法」 コバヤシヘルスケアシステム 医療法人愛生館 小林記念病院
褥瘡ケアセンター長 古田 勝経先生

(休憩) 10分

◇ 教育講演(14:45～15:25)

「褥瘡の見方・考え方～創にあった治療薬の選択から処方解析、処方提案に向けて～」

オーガナイザー : 古田勝経先生

(休憩) 10分

◇ 症例報告(処方解析、処方提案を考える)(15:35～17:05)

コメンテーター : 古田勝経先生

東北労災病院 薬剤師 庄司 理恵 先生

シップヘルスケアファーマシー東日本(株) 泉中央調剤薬局 薬剤師 橋爪 友香 先生

◇ 閉会の挨拶(17:05) 宮城県病院薬剤師会副会長 石澤 文章

※ 宮城県病院薬剤師会生涯研修単位(2単位)、日本薬剤師会研修センター研修認定(2単位)

※ 日病薬病院薬学認定薬剤師研修認定

1日目 : 学術講演 領域V-2 1単位、教育講演・症例報告 領域III-1 1単位申請中

2日目 : 領域III-1 2単位申請中

※ 共催 : (一社)宮城県薬剤師会 宮城県病院薬剤師会 NPO 法人褥瘡サミット 科研製薬(株)

申込方法：実習のみ必要（別紙）

褥瘡治療薬の使い方・実務実習

日時：平成28年7月24日（日）

日（日）午前9時30分より午後12時40分まで

会場：東北医科薬科大学薬理系実習室

参加費：4,000円

内容：別紙予定表に従い、褥瘡モデルを用いたグループ実習を開催します。

浅い褥瘡や深い褥瘡に対する創の洗浄、薬剤塗布、被覆などを実際に行い、外用薬の使い方を学んでいただけます。また予防のためのベッドマット等の使い方についても体験していただけます。

講師：コバヤシヘルスケアシステム医療法人愛生館 小林記念病院 褥瘡ケアセンター長

古田 勝経先生

募集定員（60名）に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

また、懇親会参加希望の先生は申し込み時、そのことを明記して下さい。

参加者は白衣を持参してください。

申込み方法：FAX または E-mail（登録済みの折り返し連絡などに必要です、明記して下さい）

申込み期限：平成28年6月24日（金）

申し込み先： 宮城県薬剤師会事務局 FAX022-391-1180

E-mail info@mypha.or.jp

実務実習・懇親会参加申込書

氏名：.....

所属：.....

連絡先（FAX または E-mail）：.....

懇親会 参加 不参加
.....

注・懇親会申込後のキャンセルは参加費を徴収させていただきますので予めご了承ください。

事務局から： 月 日受付いたしました。